

科目名 (英語表記)	中国古典学(Chinese Classics)						ポートフォリオ	
学年・学科	1年・全専攻		単位・期間	前期週2時間(合計30時間) (自己学習時間:60時間)			<学生が記入する上での注意事項>	
担当教員	松崎 賜	連絡先	管理棟2階 松崎研究室	オフィスアワー	水曜日 午後4時20分～		【授業計画の説明】 枠内に○か×かを記入すること。	
【授業目的】 東洋の叢智を今に伝える『莊子』を中心に講読し、現代に生きる指針を古典から読み取る。具体的には以下のとおりである。 1、『莊子』の主要部分を原文で読み、表現・思想の特質を知る。 2、『莊子』と比較対照するのに有効な原始仏典を現代語訳で、また『莊子』に関連する文献を読み、同一の問題に対する多様な視点があることを知る。				【理解の度合】(記入例)ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。				
【履修上の注意】 1、課題の提出期限を守ること。 2、『莊子』の講読は口語訳ではないので、読解はそれほど容易ではないのをあらかじめ承知し積極的に取り組むこと。 3、授業で取り上げるもの以下の関連文献に積極的にあたり、教養知識を広め深めること。				【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。(記入例)ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。				
【事前に行う準備学習や自己学習】 1、課題作文の構想を立て、実作する前に見出しの作成・段落構成を完了し、文書化しておくこと。 2、課題作文のための情報収集を各自で行うこと。 3、授業中に理解した『莊子』の読み方をもとに、原文を各自で、できるだけ読み進めること。あとで必要に応じて訳本類を参照するのは構わない。				【総合達成度】では、【達成目標】どおりに目標を達成することができたかどうか、記入してください。				
【達成目標】 1、『莊子』の表現・思想について理解し、概略を説明することができる。 2、『莊子』、原始仏典、関連文献の講読によって得た知見をもとに自身のものの考え方・行動について吟味・説明することができる。 3、上記の内容により意見文を構成し論理的に書くことができる。				ルーブリック評価の【自己評価】では、到達したレベルに○をすること。				
<b>学 習 到 達 目 標</b>								
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安 ( A )	標準的な到達レベルの目安 ( B )	未到達レベルの目安 ( C )	ルーブリック評価とは設定された到達目標の合否および到達レベル(到達度の程度)を示す基準です。				
評価到達目標項目1	『莊子』の原文を訓読の方法で読み、講読した範囲で暗唱し、内容の概略を説明できる。	『莊子』の原文を、理解できる範囲で訓読・暗唱し、内容を少しは説明できる。	『莊子』の原文に関心を持ち、読解しようと努力することができる。	【自己評価】  A ・ B ・ C				
評価到達目標項目2	授業内容をもとに自身の考え方・行動を再構成し、概略を説明することができる。	授業内容をもとに自身の考え方・行動を見直し、ある程度まとめて表現することができる。	授業内容をもとに自身の考え方・行動を見直す努力をすることができる。	【自己評価】  A ・ B ・ C				
評価到達目標項目3	授業内容をもとに文章表現・思想への理解を深めることで、自他の世界を客観的に見つけた説得力のある意見文を自由に書くことができる。	授業内容をもとに、自他の世界を考察した意見文を書くことができる。	授業内容をもとにした意見を論理的に構成しようと努力することができる。	【自己評価】  A ・ B ・ C				
				【自己評価】  A ・ B ・ C				
<b>到 達 度 評 価 ( % )</b>								
評価方法 指標と評価割合	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	その他	合計	成績の評価方法について 課題レポート3回で評価する。ただし、講義配信の課題回答が不十分であれば出席とみなさないの注意すること。
			100				100	
知識の基本的な理解			10				10	評価基準について いくつかの評価項目がそれぞれどのくらい達成できているかを基準とする。
思考・推論・創造への適応力			30				30	
汎用的技能			30				30	
態度・志向性(人間力)								
総合的な学習経験と創造的思考力			30				30	
【教科書】 授業内容により、その都度プリントを配付する。ただし、『莊子』の訳注本は購入すること。								
【参考資料】 特に指定しないが、社会・文化・思想等についての著作に積極的にあたること。								
【学習・教育目標・サブ目標との対応】(低学年)				【JABEE基準との対応】				(f)
【学習・教育到達目標との対応】(高学年・専攻科)				(C)				

【授業内容】			【授業計画の説明】(実施状況の記入)
授 業 要 目	内 容	時 間	
①授業計画の説明	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明	1	
②『莊子』の逍遙遊  万物一体論	主要な部分の読解と考察・1 主要な部分の読解と考察・2 主要な部分の読解と考察・1 主要な部分の読解と考察・2 主要な部分の読解と考察・3(前期中間試験分) (課題レポート2回あり)	5 2 6 2 2	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
前期中間試験	実施しない。		【試験の結果】 試験の点数( )
	ポートフォリオの記入		
③『莊子』の芸術・技術論	関連する部分の読解と考察	2	【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
④『莊子』の処世	関連する部分の読解と考察	4	
⑤『莊子』の真人	主要な部分の読解と考察	2	
『莊子』の世界観・人生観	関連する部分の読解と考察	2	
⑥『莊子』への理解を広め深める	東洋思想関連の文献紹介、 『莊子』の、他の重要な部分についての解説 (課題レポート1回あり)	2	
前期末試験	実施しない。		【試験の結果】 試験の点数( )
	ポートフォリオの記入		
			【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
後期中間試験			【試験の結果】 試験の点数( )
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入		
			【理解の度合】(◎教員は授業の実施状況を記入)
学年末試験			【試験の結果】 試験の点数( )
試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入		
	合計時間	30	【総合達成度】 総合評価の点数( )
【備考】			【評価の実施状況】(◎教員は総合評価を出した後に記入する。)